



日刊 發行編輯人 川崎文治 印刷所 常盤毎日印刷所

定部金貳錢 廣五號十三 刊休日曜大祭 福島縣石城郡平町長福町三五 料字詰一行 常盤毎日新聞社 日祝日ノ翌 電話六三〇番 日 常盤 電話六三〇番

刊夕日七十月七

感想 大倉邦彦

東京市日本橋區一丁目二ノ五

軒毎に神佛を祭らぬ家はな
いのに其の神佛は人間とは
何の交渉もない様に見える
現代人は宗教をば床柱や紋
と同様體裁と心得て居る
×
不足勝ちな人間の力が及
ばぬ處を、宇宙心の體得に
よつて仕遂げる所に信仰の
妙味がある牡丹の花は大き
く咲く性を持ちながら、日
光の力を受けない爲に縮込
まつた花が咲く様に、人間
も宇宙心（神佛性）と内在宇
宙心の連絡を信じ其の力を

受け込む事なしには、人間
の眞の力を發揮する事は出
来ない
×
仕合せとか有難いとか思ふ
事は皆自我以外の無我不可
思議力宇宙心の恩恵を感ず
る事を意味する人間日々の
生活からそれを拾ひ集めれ
ば数知れぬ程加算される、
それが信仰體驗であり更に
信仰の素材であらねばなら
ぬ

×
來世に憧れたり、來世を恐
れたりする死後の曖昧概念
を捨て、時々刻々の現世
生活を深く意志し宇宙心と
内在宇宙心との連絡を確信
し成すべき事を成してさへ
置けば何時死が來ても心は
安らかである。

常盤文藝

梅雨集

渡邊 何鳴

蚊火つひに崩るゝを便ひ戻
り來す
灯十句八句にて蚊火崩れけ
り
月見草こゝに會はむと約し
けり
船の蚊火ちらく落つる声
間かな
夏萩に明け放ちたる玄關か
な
五月雨や熟れ梅芝に落つる
音
花黄楊に蝶とび去らず小雨
降る
講習會の扇たまゝ動きけ
り

理想的耐水耐熱接合劑
キングパスト

○水が微温湯で溶せばすぐ
使へる簡單な膠着劑
一名コナニカワ
○四季を通じ一度ついたら
膠着力は絶對的です
○理想的完全耐水耐熱の可
驚威力を發揮し防腐の効
果著し

小野屋藥店

電話一四四番

健胃
固腸
小野常治謹製

超特急!! 幕合しな

◇ニア・ネゼルスキー氏特別出演
◇ラッキー・ナイン・ロード・ジャズバンド
◇横濱舞踊研究所・小島時彌氏
遠藤ウメノ嬢
◇劇 中村竹之助一黨
劇と音楽舞踊の
レビュー團來る
七月十七八日兩夜
大人 金五十錢
小人 金二十錢
聚樂館

常盤毎日新聞社後援



エースビール

萬人嗜好的
風味芳醇!

清涼飲料

リボンシトロン

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)

川井内科診療所

電話 七二二番
醫學士 川井重之
女 醫 川井安子

和 食卓覆ひは、和久井屋
平町南町六五
電話 四〇五番

國勢調査員に

内閣の辞令

平町は卅五名

郡内の訓練會日割

本年十月一日全國一齊に執行される國勢調査の爲め平町に割當てられた調査員卅五名は近く伏見町長より推薦縣廳に上申し改めて内閣から囑託辭令ある等因に石城郡全部を通じては八百卅二名の任命を見るに至るべく是等調査員に對しては一應事務訓練の必要ある處から左記日割に依つて夫々事務訓練會を請く豫定である

(八月一日赤井小學校に

て五十七名)赤井、上下小川、川前(同日永戸箕輪組合卅三名)永戸、箕輪澤渡、三坂(同日四倉小學校卅三名)神谷、草野大浦、大野、四倉(同日湯本校九拾二名)湯本、磐崎(五日小名濱校卅三名)高久、豊間、江名、鹿島、玉川小名濱(六日平第三校百拾八名)中、好間、高久、平窪(七日同百廿九名)内郷飯野、夏井(八日植田校百四拾五名)泉、渡邊、植田山田、錦、勿來、川部、十日入遠野校五拾二名)上遠野、入遠野、田人組合

貯炭の山が

毒煙を吐く

自然燃焼して

需要地悲境の痛手

石城の各炭礦は運賃が船舶を利用する北九州及び北海道各炭礦よりも高率を示して居る爲め京濱兩毛新潟の大需要地の註文を失ひつゝ、あつたが夫れでも是非鐵道を利用せねばならぬ信越地方のみは辛うじて販賣勢力の範圍内に於かれて居た處最近夫れ等地方唯一の需要家である各製糸工場が底知れぬ糸價暴落の爲め休業乃

至は操業短縮の悲境に沈んで居るので石城地方の紛炭の需要は大打撃を蒙り目下各炭礦の貯炭の山は自然燃焼して毒煙を吐きつゝある

巡查の

官服を破る

車中に熟睡

宮城縣鹽釜町旅館島津福太郎方番頭千葉縣生れ石井庄

吉(六)は十六日午後十一時五十分の驛着の汽車中に泥酔して熟睡し居たのを車掌が注意すると食つて掛り散々暴行を働く爲め驛構内取締の二瓶巡查が取押へやうとする矢庭に同巡查の官服を破り手のつけ様がないので平署に引致し檢束を加へ本十七日佐々木部長から散々お目玉を頂戴し平署の様になつたと。

桑原の妻女

けふ平署に引致

行衛を晦した桑原が一度訪れて來た事實

平郵便局から郵便切手及び収入印紙一萬五千數百圓を横領し遊里に於て費消し盡した桑原庸夫の妻シゲ子は同事件の暴露した當時に於て

奉職中

であつた平町役場より身を退きひたすら謹慎の意を表して居た爲め「不運な婦人」として一般から同情されて居たが今回桑原の逮捕と共に逃走後の桑原が一度シゲ子の許を暮夜忍かに訪ねて來つた事實が明らかとなり

夫婦の

場合は云々此の重大犯人を隠蔽せし廉に依つて今朝新町の實家から平署に引致された、因に目下平檢事局の令狀に依

自動車往來に

差支へなし

勿來關縣道

勿來驛から勿來の關に通ずる直通縣道の設定に就いては平土木監督所に於て實地測量の結果驛前から一千百間の距離ある爲め自動車の往來可能だけの傾斜を保つに差支へない事が判明したと。

宮川理髮店主が

貧困兒童の散髮

けふ休業日を利用して四十一名を無料で

平驛前新通り宮川理髮店主宮川桑吉氏は本拾七日休業日を利用して貧困兒童の散髮を爲すべく第一第三兩小學校に至り第一校にては廿五人、第三校にては十六人の兒童を無料散髮したが今後毎月貧困兒童の爲めに無料奉仕すると

訪ね來り「小使錢をくれ」と迫り首をもぎ取るぞ等と脅かされると今日平署に秀藏の説諭方を願出た。

三年前から

行方が不明

福島市清明町幸一息伊藤榮(三)は平町杉平に居住中三年前から行方不明になつたが来る八月二日日本籍地に於て簡閱點呼があるので搜索して貰ひたいと幸一から十七日平署に願ひ出た。

勿來組頭更迭

勿來町消防組頭赤津庄兵衛氏辭職し小松章氏が後任と決定した。

祭禮の雑踏中よ

露天商人が悶死

平町人事

▲出生

△大工町二五 多田井笑次郎氏三男和雄
△六間門二〇 當時台灣台南市真木一郎氏長女郁子
△南町一四 岩本朝吉氏三男三喜男
△久保町三二 當時東京府北豊島郡石神井村沼田千代吉氏二男茂
△四軒町一三 同上池袋巻原修雄四女恒子
△白銀町五 鹽田勝治郎氏二女キキ

▲婚姻

△銀治町二八 當時東京市下谷區上車坂雜貨商渡邊勇氏(三五) 栃木縣真岡町小宮(アイ)

▲死亡

△大工町一三 當時東京府莊原郡四黒町鈴木茂作(六四)
△立町九一 清原長作(五七)

小川の火事

既舎から

石城郡下小川村大字下小川字中島三四農草野竹次郎方既舎から十六日午後十一時頃發火同既舎を焼失鎮火したが原因は麥燒きを爲したる炭をよく消さず既舎へ入れて置いた爲めであると

育英資金貸

石城郡は二名

石城郡の本年度學育英資金貸付者は佐藤止(一高)吉田孟(水高)の二名と決定した

唱歌遊戯講習

石城郡教育主催唱歌遊戯講習

体育の講習

研究會主催で

既報石城郡體育研究會主催夏期體育講習會は來月四日から七日迄平第一小學校に開催、體操競技球技の三科目で講師は東京高師青山正文氏及び富田體育主事外數氏である。

首を

もぎ取るゾ

脅す兄に説諭

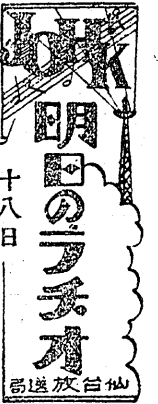
石城郡下小川村川平根本金

廣告折込み及びチラシ全部一手引受

御用命通り一戸も漏れなく責任配布

折込は百枚に付十錢
チラシは百枚に付十五錢

常磐毎日新聞社



明日の天気 今晩は北東の風 曇り雨模様明日は北東の風 強風が吹く模様

△前九・一〇 料理献立 「小鯛の粕蒸し」西川里子 発表 日用品値段「花類」 △前一〇・三〇 家庭講座 「緊縮巻」と髪の手入に就て 菅原たつ子 △後〇・〇五 映畫物語「唐人お吉」關紫好、獨唱羽衣歌子、伴奏指揮岡村郷吉 △後五・〇〇 趣味講座「海と山へ」仙台鐵道局旅館掛長江口胤顯 △後六・〇〇 一童話と童謡「獨唱」一、童話漁師と金の魚 二、童謡獨唱數番

内内金子、ピアノ伴奏古關裕而 △後六・三〇 山林講座「漆とその應用」東京美術學校教授六角紫水 △後七・二五 趣味講座「大物忌神社と鳥海山」宮司志賀正光 △後八・〇〇 古曲の夕一、箏組曲 二、河東節 三、宮園範 四、萩江節 五、一中節 六、めりや 七、山彦小文次 其他 △後九・四〇 時報 氣象通報 番組豫告

大物忌神社と鳥海山

宮司 志賀正光

これより自分のつとめ 居ります神社並に鳥海山の ことを登山の季節になりま したので皆様方の御参考にならばと茲に伺ひました 扱て現代に於きましては 登山熱の勃興は實に驚くば かりで誠に結構の事と存じ ます、わが大物忌神社の御 鎮座してある鳥海山が奥羽 に於ける名山であるとは既 に皆様も御承知のことと存じ ます、山の姿が極めて八面 玲瓏たる駿河の富士山に似 て居るので一名出羽富士と も申されて居ります、 一、出羽の名義、古く鷲 とか鷹の羽を貢として村里 より奉りたるによる、出羽 の御宇であると申して居り ます 四、祭神の神徳、大物忌 神社と申上げて社の記録に は豊字氣比賣命と申して伊 勢の外宮様と御同神で御座 います。御神徳は五穀養蠶 衣食住のことを守護されま した、神様でございます 五、噴火の概要、この山 は火山系で度々噴火をして 居ります、古く敏達天皇の 七年正月十六日が記録にあ る第一番目ですそれから十回 程噴火して居る近い所で享 和年間の噴火が猛烈であつ た様に察せられます。記録 には「穴より出る煙、實に 鐵砲の火勢に變らず其の音 千僧の法螺を吹くが如し」と 想像すると荒神ヶ嶽が噴 火の中心であつたと見へて 古くはこの荒神ヶ嶽にあつ た御本殿もこの折に破壊さ れて場所も現在のところへ 移されたものと思ひます。 最後が文政四年四月廿二日 から噴火し始めたのです現 今の本殿より西北の方向二 ケ所より噴火した様に考へ られます。今日で申すなら 秋田縣よりの方がひどかつ た様です。此の時の景色の よいこと恰度宮城縣下の松 島の様な絶景を破壊されて 九十九島が海水に浸つて居 つた面影が全くななくなつた のです。西行法師の歌に 杉島やおしまの月も何な らん、た、象波の秋の夕 ぐれ 噴火した事は合計十五回あ

りました、以来今日迄全く 休眠状態を續けて居るので す、現在でも頂上近くに噴 火の際流れ出た熔岩などの 状態などを眼の前に見るこ とが出来ます。夫れ故に學 術的研究的研究材料にな ると専門家が申されて居 ります。

小鯛の粕むし

西川里子発表

▽材料(五人前) 小鯛三尾 玉子一個、白味噌大匙一 杯、砂糖小匙三杯 △調理法 小たひは鱗を取 り三枚に下し腹のうすみを そぎとり小骨を毛抜きで抜 きとり皮をひき離しふつて しばらくおき身がしまつて 来た時布巾で水氣をふき取 つて置きます。白味噌廿分 をすり鉢にとつてざつとす り裏漉にかけ鍋にとり玉子 の黄身一個分味淋大匙一杯 砂糖小匙三杯を加へ火にか けて練り上げた味噌を冷ま して置きます。前の魚を皮 目を外側にして粕に折り味 噌を箔にして入れ蒸籠にぬ れ布巾を敷いた上に並べ十 分間程蒸し取り出してから 粕の葉に包みます

一冊の代金 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 川崎文庫 電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

夏!! 家庭用品 食卓覆ひ はちふた カーテン すだれ 是非御来店を 和久井屋 漆器店 平町壹町目 電話四〇五番

不思議膏 神経痛、かたのこり うちみ、くちき、リ ウマチス、齒痛 ハツテ御覽なさい驚くばか り薬効あり 小野屋薬店 平町四丁目 電話四一四番

淋病 皮膚病 婦人病 梅毒 専門 村松 院 腸胃病 胃性病 腸胃病 電話七〇一

絶対二度とない 破天荒の大廉賣 製産過剰に付 家具の半額割戻大賣出し 期間七月二十日ヨリ 十一日間 夏物藏拂大賣出し 半額割戻とは例へば... 拾圓の御買上げに對し五圓の割戻券を差上ります其の割戻券で御自由他 の品を御持ちになることが出来ます 丸はん家具店 營業所平町三丁目 電話三五九番 工場平町新田前 電話七二三番

夏服 輕快で瀟洒な夏服の 季節となりました スマートな今年度の 新製品が豊富に 取揃ひました 輕装上衣 黒セル4・20ヨリ カシミヤ 10・00ヨリ 白直衣 1・60ヨリ 白づぼん 60ヨリ 平一あかや洋服店 電話203

久能木式石油コンロ 燃料經濟日本一 今が需要最好期 部分品附屬品修理修繕 御一報次第貨物持参 城山 吉田薬舗

外科
 門線專光×
上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

市原醫院
 平町田町(電話一一四番)
 内科、小兒科 市原卯太郎
 外科一般、婦人科 市原陸郎
 外科、梅毒、淋毒 市原三三男
 入院隨時

當店の營業は常に
時代の尖端に起つ
米國式月経 金十一圓
流通器荷着 金五圓
 ▲産兒制限相談
 ▲月経閉止他藥無効者に限り漢法通經劑を特長直接骨盤腔に充血作用を起故通經
 ▲月経やく止りは○○法に限る怪しき器具藥品等に迷されず當相談所に來つて救はれよ
 ▲平消毒舎(何でも安く消毒します)
 ▲檢便、尿、乳、水質試驗(金十五錢、廿錢、五十錢、一圓以上)
 平三丁目(電話一六六番)
宇佐美藥局

無料 眼鏡 TOKIWAYA
 御客様本位
 良品廉賣 商品豊富 親切丁寧 即時調整 示度正確
 遠視 斜視 乱視 老視 近視
 無料檢眼開設致シマシタ
 専門眼科醫師擔任
 眼鏡部 電話三三九
 無料檢眼券御利用下サイ
常盤屋時計店
 平町一丁目

◆名畫に酷暑なし
 松竹阪妻プロ特作品
 阪東妻三郎・森靜子……主演
石松の最後 全
 文久二年……清水港の次郎長が公儀のお咎めが解けた時分、次郎長が腕と頼める……森の石松が見るも悲壯無慘なる未だ世に傳へられぬ石松の最後を忠實に描けるもの
 日活大作・新婚映畫十種の一
 好漢 小杉勇・夏川靜江……主演
新家庭講座 全
 昭和金は親爺の懐ろにいくらでも有るものだと考へて居る男が、或る女と結婚した新家庭をもつと、そふはいかないでも仲々遊びはやめない、こんな人を夫に持つた奥様としての方法
 日活獨自・太素自慢の佳作
 四郎改メ新妻英助・伏見直江……主演
腕 本全
 長屋 藤間紫……主演
 靜かに更ける大江戸の町……所は深川の一隅、名物男拳骨の鐵五郎が涙が出る様な痛快な大活躍、其又變り者にスリのお銀がポーとくる、愈々狸長屋の大事件、悪與力花出の隠謀を破つて凱歌を擧げる其中に七年振りの對面に泣いて喜ぶ……親と子がある
 ◆十七日寫眞替 ◆ 日活平松竹 館

権十郎
眞内藥局
 電話三〇七番

平町南町
看護婦急派
 の求めに應じます
平看護婦會
 電話三〇七番

元氣(一升瓶詰)一、二〇
 四合瓶詰 五、五〇
 非常な好評實行飛が如し
 相馬郡 瓜生酒店
 中村町 電話一四五

文化清酒
 コールド嵐山
 コモ包の瓶詰
 モダン花娘
 喫茶部新設

お醬油はヤマフル
 醬油味噌
 たひら正宗
 經節食料品
 鹽屋
金山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部)一〇番
 (製造工場)二七番

セメント
 壁用材料
 コールタール
 ペンキ塗料
 板ガラス
 磐城セメント株式會社
 代理店 **西村屋藥舖**
 平町三丁目(電話三)

高久病院
 院長 醫學士 高久忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽清忠
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 平町田町 電話五二三番
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

暑中御伺申上候
 平驛前
昭和タクシー
 電話三四三番

電話六三〇番